

【発表者の方へ】

発表はすべてPCプレゼンテーションとなりますので、以下の要領をご確認の上、ご発表の30分前までにPCセンターへお越し下さい。

●Windows でデータを作成された場合：データをお持ち下さい

- USBフラッシュメモリに保存してご提出下さい。
(DVD・FD・MO等は受付できませんのでご注意ください。)
- OSはWindows 10、アプリケーションはPowerPoint 2013、2019、2021に対応しております。
それ以外のソフトや動画が多い場合は、ご自身のPCをお持ち下さい。
- フォントはOS (Windows 10) 標準のもののみご用意致します。
日本語：MSゴシック・MSPゴシック・MS明朝・MSP明朝
英語：Times New Roman・Arial・Arial Black・Arial Narrow・Century
Century Gothic・Courier・Courier New・Georgia
これ以外のフォントを使用した場合、文字・段落のずれ・文字化け・表示されない等のトラブルが発生する可能性があります。
- 液晶プロジェクターの解像度はフルHD (1,920×1,080dpi) まで対応しております。
- ご用意いただくUSBフラッシュメモリのウイルスチェックを事前に行ってください。
- ご発表開始時刻の30分前までにPCセンターでご発表データを試写確認のうえ、ご提出下さい。
午前の最初のセッションの時間帯ではPCセンターが混雑しますので、お早めにお越し下さい。
- 発表者ツールの機能はご使用にはなれません。
- ご発表データは事務局で責任を持って消去致します。

●Macintoshでデータを作成された場合：ご自身のPCをご持参下さい

- 必ずACアダプターをご用意下さい。



HDMI



HDMI



付属外部出力ケーブル例

- 動画もご利用いただけますが、再生できることをPCセンターで必ずご確認下さい。
- 利用機種・OS・アプリケーションに制限はありませんが、HDMIによるモニター出力が必要です。
ご持参いただくPCからHDMIへの変換コネクタが必要な場合には、各自でご用意下さい。 HDMI以外の接続はお受けできませんので予めご了承ください。
- ご講演時は演台にあるマウス又はキーボードにてスライドの操作をお願いいたします。操作機器の接続にUSBポートを使用するため、USBポートがないPCをお持ちの場合は変換コネクタをご用意ください。(例：MacBook Type-CからUSB変換)
- スクリーンセーバー、ウイルスチェックならびに省電力設定は予め解除しておいて下さい。
- 電源ケーブルを必ずご持参下さい。バッテリーでのご使用はトラブルの原因となります。
- 発表開始時刻の30分前までに、PCセンターで試写を行ってください。PCセンターならびにPCオペレーション席ではデータの修正・変更は行えません。
- 念のため発表用データのバックアップを必ずご持参下さい。
- ご持参頂くPCに保存されている貴重なデータの損失を避けるため、必ず事前にデータのバックアップを取っておいて下さい。
- PCをお預かり時にお渡しする半券はPC返却時に必要ですので大切に保管下さい。
- 発表者ツールの機能はご使用にはなれません。
- ご講演時に原稿が必要な場合は、予め印刷してご持参ください。

第269回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日時：令和5年9月2日（土）

会場：ステーションコンファレンス東京 5・6階（千代田区）

会長：埼玉医科大学 国際医療センター 心臓内科・不整脈科 加藤 律史

	第Ⅰ会場	第Ⅱ会場	第Ⅲ会場	第Ⅳ会場	第Ⅴ会場	第Ⅵ会場
8:50	開会挨拶					
9:00	会長企画セッションⅡ 9:00-10:30 心不全への アプローチ	9:00 一般演題 9:00-9:50 虚血性心疾患1 セッション1		9:00 教育セッションⅣ 9:00-10:30 安定型狭心症へのアプローチ 演者：新家 俊郎 (昭和大学医学部内科学 講座循環器内科学部門) 演者：上妻 謙 (帝京大学医学部内科学 講座・循環器内科) 演者：三宅 隆之 (所沢ハートセンター循環器科)	9:00 一般演題 9:00-10:00 不整脈1 セッション9	
9:50		9:50 休憩		10:30 休憩	10:00 休憩	
10:30	休憩	9:55 一般演題 9:55-10:45 虚血性心疾患2 セッション2	10:00 一般演題 10:00-10:45 先天性 セッション3	10:40 一般演題 10:40-11:10 肺高血圧 セッション6	10:10 一般演題 10:10-11:10 不整脈2 セッション10	10:00 一般演題 10:00-11:05 心臓・腫瘍/ 腫瘍循環器 セッション14
10:50	教育セッションⅠ 10:50-12:20 末梢血管インター ベンションの最前線 演者：仲間 達也 (東京ベイ・浦安市川医 療センター循環器内科) 演者：安齋 均 (SUBARU健康保険組合 太田記念病院循環器内科)	10:45 休憩	10:45 休憩	11:10 休憩	11:10 休憩	11:05 休憩
12:20	休憩	10:50 学術委員会企画 セッション 10:50-12:20 急性心不全治療 update	11:10 成人先天性心疾患 セッション 11:10-12:20 成人先天性心疾患 —最近の話題と各 施設の取り組み—	11:15 一般演題 11:15-12:20 デバイス セッション7	11:20 一般演題 11:20-12:20 不整脈3 セッション11	11:30 一般演題 11:30-12:20 末梢血管/その他 /地域医療 セッション15
12:30	12:30-13:20 ランチョンセミナー1 共催：日本ペーリンゲイン ゲルハイム株式会社/ 日本イーライリリー株式会社	12:30 休憩	12:30 休憩	12:30 休憩	12:30 休憩	12:30 休憩
13:20	休憩	12:30 12:30-13:20 ランチョンセミナー2 共催：第一三共株式会社	12:30 12:30-13:20 ランチョンセミナー3 共催：エドワーズライフ サイエンス株式会社	13:20 12:30-13:20 ランチョンセミナー4 共催：ボストン・サイエンティ フィックジャパン株式会社/ ババルティスファーマ株式会社	13:20 12:30-13:20 ランチョンセミナー5 共催：ニプロ株式会社	13:20 12:30-13:20 ランチョンセミナー6 共催：日本ライオン株式会社
13:30	会長企画セッションⅠ 13:30-15:00 心房細動メカニズ ムの新しい概念	13:30 教育セッションⅢ 13:30-15:00 structural heart diseaseの最新の話題 演者：清原 久貴 (東邦大学医療センター 大橋病院心臓血管外科) 演者：阿佐美匠彦 (三井記念病院循環器内科) 演者：大塚 俊哉 (ニューロトクワテ循環器科カテー テリアルセンター)	14:00 一般演題 14:00-15:00 弁膜症 セッション4	14:00 研修医セミナー 14:00-15:00 循環器薬の使い方	14:00 教育セッションⅡ 14:00-15:30 二次性心筋症アップデート 演者：永井 知雄 (東海大学医学部内 科学系循環器内科) 演者：中笠信太郎 (埼玉医科大学国際医 療センター心臓内科) 演者：松山 高明 (昭和大学医学部法医学講座)	第16回 ダイバーシティー・ フォーラム 13:30-15:00
15:00	休憩	15:00 休憩	15:00 休憩	15:00 休憩	15:00 休憩	15:00 休憩
15:10	15:10-16:00 デザートセミナー1 共催：ジョンソン・エンド・ ジョンソン株式会社	15:10 15:10-16:00 デザートセミナー2 共催：アボットメディカル ジャパン合同会社	15:10 15:10-16:00 デザートセミナー3 共催：バイエル薬品株式会社	15:10 15:10-16:00 デザートセミナー4 共催：日本メトロ ニック株式会社	15:30 休憩	15:10 一般演題 15:10-15:45 大動脈/静脈 セッション16
16:00	休憩	16:00 休憩	16:00 休憩	16:00 休憩	16:00 一般演題 16:10-16:55 心内膜炎 セッション5	16:00 休憩
16:10	16:10-17:00 Case Report Award	16:10 16:10-17:00 Student Award	16:10 一般演題 16:10-16:55 心不全 セッション8	16:10 一般演題 16:10-16:55 心不全 セッション8	16:10 一般演題 16:10-16:55 心筋炎・心筋症1 セッション12	16:00-18:00 医療安全・医療倫 理に関する講習会 (DVDセッション)
17:00	休憩	17:00 17:10-18:00 Resident Award	16:55 休憩	16:55 休憩	16:55 休憩	
17:10	17:10-18:00 Clinical Research Award	17:10 17:10-18:00 Resident Award			17:00 一般演題 17:00-17:35 心筋炎・心筋症2 セッション13	
18:00		18:00				
18:10	社員総会					

【専門医単位登録に関して】

専門医単位に関するセッション（地方会参加単位、教育セッション、医療安全・医療倫理に関する講習会）は、セッション開始前に単位登録手続デスクへお越しくださいますようお願い申し上げます。
セッション終了後には単位のご登録ができないためご注意ください。

また地方会参加単位登録（5単位）、教育セッション（3単位）、医療安全・医療倫理に関する講習会（2単位）はそれぞれ単位の登録手続を行っていただく必要がございます。

お手数ではございますがそれぞれの単位のご登録をお願いいたします。

■「地方会参加単位」（5単位）受付時間 9:00～17:50（開催終了まで）

■「教育セッション」（3単位）受付時間 8:30～10:00/10:20～11:50/13:00～14:30/13:30～15:00（開始30分前から終了30分前まで）

■「医療安全・医療倫理に関する講習会」（2単位）受付時間 15:30～17:30（開始30分前から終了30分前まで）

第 I 会場

会長企画セッション II

9:00-10:30

座長 (日本大学医学部内科学系循環器内科学分野) 奥村 恭男
座長 (双泉会クリニックなりひら橋) 西岡 利彦

心不全へのアプローチ

心不全へのアプローチ：虚血性心疾患による心不全に対する 血行再建

(横須賀共済病院循環器センター) 疋田 浩之
(横須賀共済病院) 高橋 淳
(東京医科歯科大学大学院循環制御内科学) 笹野 哲郎

心不全へのアプローチ、不整脈医の役割

(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科・不整脈科) 池田 礼史
加藤 律史
(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 荒井 隆秀、岩永 史郎、中埜信太郎

心不全へのアプローチーリハビリテーション医の役割ー

(川口きゅうほりリハビリテーション病院リハビリテーション科) 牧田 茂

教育セッション I

10:50-12:20

末梢血管インターベンションの最前線

座長 (総合高津中央病院循環器内科) 宮本 明

末梢動脈インターベンションに関する最新の話

(東京ベイ・浦安市川医療センター循環器内科) 仲間 達也

今後の静脈疾患における循環器医の役割は？

(SUBARU健康保険組合太田記念病院循環器内科) 安齋 均

ランチオンセミナー 1

12:30-13:20

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社/日本イーライリリー株式会社
座長 (新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学) 猪又 孝元

SGLT 2 阻害薬から始める心不全治療

(埼玉医科大学総合医療センター心臓内科) 重城健太郎

会長企画セッション I

13:30-15:00

座長 (東京医科歯科大学大学院循環制御内科学) 笹野 哲郎
座長 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科・不整脈科) 加藤 律史

心房細動メカニズムの新しい概念

心房生検による心房細動の組織学的評価

(佐賀大学医学部循環器内科) 山口 尊則

心房細動と遺伝子

(広島大学循環器内科学) 中野由紀子

心房細動と心外膜脂肪

(大分大学循環器内科・臨床検査診断学) 高橋 尚彦

デザートセミナー 1

15:10-16:00

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社
座長（上尾中央総合病院循環器内科） 林 健太郎

心房細動アブレーションの進化

～ CARTO®テクノロジーを駆使した最新ワークフロー～

（土浦協同病院循環器内科） 久佐 茂樹

Case Report Award

16:10-17:00

座長（順天堂大学大学院医学研究科循環器内科学講座） 南野 徹
座長（日本医科大学武蔵小杉病院総合診療科） 塚田（哲翁） 弥生
審査委員長（東海大学医学部内科学系循環器内科学） 伊苺 裕二
審査委員（所沢第一病院内科） 金古 善明
審査委員（昭和大学藤が丘病院循環器内科） 鈴木 洋
審査委員（日本医科大学付属病院循環器内科） 岩崎 雄樹

I-1 家系解析が原因遺伝子同定に有用であったMYLK変異による遺伝性胸部大動脈解離症の一例

（東京大学医学部附属病院循環器内科） 西條 大悟

小室 一成

（東京大学医学部附属病院 循環器内科/マルファン症候群センター）

八木 宏樹、武田 憲文、

（東京大学医学部附属病院ゲノム診療部）

秋山 奈々

（東京大学医学部附属病院 心臓外科/マルファン症候群センター）

安藤 政彦、山内 治雄

I-2 妊娠後期に診断した重症肺高血圧に対して集学的治療により母児ともに救命できた一例

（筑波大学医学医療系循環器内科） 土屋 亮介

佐藤 希美、南 健太郎、平谷 太吾、石津 智子、

家田 真樹

I-3 右房・左房・左室に心内多発血栓を認めた高度肥満若年女性の一例

（横浜市立みなと赤十字病院循環器内科） 河本 梓帆

有馬 秀紀、川地 祐輔、高口 知之、齊藤 一平、

西尾 祥郎、安井 由美、小田 惇仁、新井 紘史、

村田 和也、佐川雄一朗、萬野 智子、浅野 充寿、

志村 史左、倉林 学、山内 康熙

（横浜市立みなと赤十字病院心臓血管外科）

伊藤 智

（横浜市立みなと赤十字病院病理診断科）

熊谷 二郎

（東京医科歯科大学医学部附属病院循環器内科）

笹野 哲郎

I-4 部分肺静脈還流異常を背景に片側性肺水腫を呈した心不全の一例

（東京都済生会中央病院循環器内科） 亀山 翔平

平田 直己、伊崎慶史郎、渡邊 桂子、谷口 枝穂、

増田 光佑、大平 麻貴、川久保裕美子、

藤井 佑樹、武井 眞、遠藤 彩佳、鈴木 健之、

長谷川 祐、高橋寿由樹

I-5 好酸球性心内膜炎に合併した収縮性心膜炎による難治性右心不全に対し心膜剥離術・三尖弁置換術を行った一例

（防衛医科大学校病院循環器内科） 長野 綾佳

長友 祐司、立川誠四郎、山家 充起、内藤 朱美、

姫野 雅史、前川原慧則、永沼 嗣、河合 茜、

岩下 碧、弓田 悠介、鏡 和樹、安田理紗子、

東谷 卓美、難波 貴之、眞崎 暢之、足立 健

（防衛医科大学校病院心臓血管外科）

堤 浩二

座長 (筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子
 座長 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 中村 正人
 審査委員長 (東京慈恵会医科大学附属柏院中央検査部・内科総合診療部) 吉田 博
 審査委員 (日本医科大学千葉北総病院循環器内科) 宮内 靖史
 審査委員 (埼玉医科大学病院予防医学センター) 村松 俊裕
 審査委員 (東京大学医学部附属病院循環器内科) 藤生 克仁

I-6 急性心不全患者の左室駆出率と長期予後との関連における性差の検討

(防衛医科大学校病院循環器内科) 河合 茜
 岩下 碧、池上 幸憲、足立 健
 (防衛医科大学校病院循環器内科／榊原記念病院循環器内科) 長友 祐司
 (榊原記念病院循環器内科) 北村 光信、吉川 勉
 (東京都済生会中央病院循環器内科) 武井 眞
 (杏林大学医学部付属病院循環器内科) 合田あゆみ、河野 隆志
 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 中埜信太郎
 (聖路加国際病院循環器内科) 水野 篤
 (独立行政法人国立病院機構東京医療センター循環器内科) 坂本 宗久
 (慶應義塾大学病院循環器内科) 白石 泰之、香坂 俊

I-7 24時間自由行動下血圧測定による夜間高血圧のリスク因子の検討：JAMP Study

(自治医科大学内科学講座循環器内科学部門) 宮崎 彩花
 成田 圭佑、原田 顕治、星出 聡、菊尾 七臣

I-8 潜在的な左室拡張障害を合併した強皮症患者の臨床的意義

(群馬大学医学部附属病院循環器内科) 湯浅 直紀
 小保方 優、村上 文崇、反町 秀美、加藤 寿光、
 石井 秀樹

I-9 Lesion index (LSI) の有効性と安全性について焼灼実験

(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 成田 昌隆
 工藤 大輔、田中 尚道、佐々木 渉、松本 和久、
 森 仁、筒井 健太、池田 礼史、荒井 隆秀、
 中埜信太郎、加藤 律史、松本 万夫
 (埼玉医科大学国際医療センター MEサービス部) 樋口 駿太

I-10 血行再建困難な重症虚血肢に対するバルーン拡張術のみによる経皮的deep venous arterializationの検討

(総合高津中央病院心臓血管センター心臓血管センター) 高木 友誠
 宮本 明、岡田 拓也、久原 亮二、福田 正浩、
 山内 靖隆

第Ⅱ会場

一般演題 セッション1 虚血性心疾患1

9:00-9:50

座長 (順天堂大学医学部附属練馬病院循環器内科) 磯田 菊生
座長 (栃木県済生会宇都宮病院循環器内科) 吉島 信宏

II-1 橈骨動脈より8Frシースレスガイドイングカテーテルを用いてDCAを施行した一例

(足利赤十字病院循環器内科)

前田 高志
沼澤 洋平、田中 誠、児島 秀典、萩庭 頌、
横倉 創一、小野 翔也、渡部 晃佑、篠田 雄平

II-2 ²⁰¹Tl-¹²³I-BMIPPシンチグラフィが有用であった冠微小血管攣縮を伴うspasmの一例

(NTT東日本関東病院循環器内科)

久米 里実
根本 脩平、草野 雄己、佐藤 慎吾、竹山 誠、
石崎 薫、勝然 進、桂 有智、澤田 直子、
割澤 高行、持田高太郎、佐藤 高栄、松下匡四郎、
安東 治郎

II-3 LAD入口部限局性病変へのステント留置法の違いによる長期臨床成績の比較

(新東京病院循環器内科)

大内 徹
中村 淳、三友 悟

II-4 リポ蛋白aの関与が疑われた急性冠症候群の症例

(川崎市立多摩病院循環器内科)

高木 宗兵
本田 圭、鈴木 知美、貝原 俊樹、樋熊 拓未、
宮崎 秀和

II-5 造影CTで多枝病変であることが予想されたNSTEMIの一例

(独立行政法人国立病院機構埼玉病院循環器内科)

古田島太希
佐藤 篤志、笹島 康平、井合 渉、栗原 和人、
磯田 徹、丹羽 直哉、田中 宏明、鶴見 昌史、
小野 智彦、松村 圭祐

II-6 高度石灰化病変によるST上昇型心筋梗塞に対して待機的Rotational atherectomyを選択した1例

(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科)

大木 初里
羽鳥 将史、坂倉 健一、津久井卓伯、陣内 博行、
山本 慶、谷口 陽介、藤田 英雄

II-7 急性心筋梗塞の治療時に挿入したIABPバルーンが術後手動的に抜去不能となり、外科的抜去を要した一例

(聖隷横浜病院心臓血管センター内科)

河合 慧
長谷川和喜、仙波 貴之、山田 亘、中島 啓介、
新村 剛透、芦田 和博

(聖隷横浜病院心臓血管センター外科)

乗松 東吾

一般演題 セッション2 虚血性心疾患2

9:55-10:45

座長 (帝京大学医学部附属溝口病院第4内科) 木村 隆大
座長 (国立病院機構水戸医療センター循環器科) 小泉 智三

II-8 CABG後にヘパリン起因性血小板減少症(HIT)を発症し、SVGが閉塞した1例

(医療法人社団誠馨会千葉メディカルセンター臨床研修科)

濱畑 美帆

(医療法人社団誠馨会千葉メディカルセンター循環器内科)

山崎 正雄、野村 秀仁、中村 仁、生富 公康

(医療法人社団誠馨会千葉メディカルセンター心臓血管外科)

湯本 啓太、服部 隆司、三原 和乎

II-9 microvascular spasmを認めた左室穿孔の一例
(東京都立広尾病院循環器科)

佐藤 峰輝
山岡広一郎、三浦麻利衣、鈴木 美波、小峰 征也、
砂川 昌隆、津野 航、水沼 吉章、佐々木貴史、
鯨岡 裕史、新井 智之、吉田 精孝、高橋 正雄、
北條林太郎、土山 高明、深水 誠二

II-10 侵襲性クレブシエラ感染症急性期に発症した急性心筋梗塞の責任閉塞病変に対し遠隔期血行再建を図った症例

(聖マリアンナ医科大学病院循環器内科) 中西 亨
(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院循環器内科) 古藤 弾、笠原みづほ、山崎 浩史、水越 慶、
水野 幸一、松田 央郎
(聖マリアンナ医科大学循環器内科) 明石 嘉浩

II-11 ステントレスな急性期再灌流治療が補助循環管理中の出血性合併症管理に寄与し救命し得た院外心肺停止の一例

(埼玉医科大学総合医療センター医学部心臓内科) 長堀 寛司
阿部 拓郎、重城健太郎、小形 円香、河原 勇貴、
江畑 希子、安藤 敏行、小宮山英徳、石原 嗣郎、
井上 芳郎、松陰 崇

II-12 急性冠症候群疑いで救急搬送された冠微小循環障害の一例
(昭和大学江東豊洲病院循環器内科)

草壁 優太
若林 公平、浅川 将輝、相澤 直樹、柴田 恵多、
古屋 貴宏、佐藤 千聡、西蔵 天人、池田 尚子、
丹野 郁

II-13 失神の原因として特発性冠動脈解離が疑われた一例
(独立行政法人国立病院機構水戸医療センター循環器内科)

黒田 裕和
丸田 俊介、宮坂 直樹、鮎澤 祥吾、茂木 奈穂、
田畑 文昌、小泉 智三

II-14 急性心筋梗塞後の左室oozing ruptureに対してsutureless repairで救命し得た2例
(東海大学医学部附属八王子病院心臓血管外科)

山本 堯佳
古屋 秀和、山口 和臣、桑木 賢次

学術委員会企画セッション

10:50-12:20

座長 (千葉大学医学部附属病院循環器内科) 岩花 東吾
座長 (慶應義塾大学循環器内科) 白石 泰之

急性心不全治療update

急性心不全の診断と治療：総論

(慶應義塾大学循環器内科) 白石 泰之

心不全非代償期における構造的疾患治療

(榊原記念病院循環器内科) 樋口 亮介

「心不全における不整脈に対する非薬物療法」

(筑波大学附属病院循環器内科) 小松 雄樹

心原生ショックに対する補助循環デバイス

(千葉大学大学院医学研究院心臓血管外科学) 松宮 護郎

ランチョンセミナー 2

12:30-13:20

共催：第一三共株式会社
座長（横山内科循環器科医院）

横山 広行

ますます重要になる心房細動の病的意義と予後改善を目指す最新治療

（福岡赤十字病院循環器内科） 向井 靖

教育セッションⅢ

13:30-15:00

座長（東邦大学医療センター大橋病院心臓血管外科） 尾崎 重之

座長（聖路加国際病院心臓血管センター循環器内科） 小宮山伸之

structural heart diseaseの最新の話題

自己心膜大動脈弁再建術（Ozaki手術）16年の歩みと遠隔成績

The Sixteen Year Journey of Aortic Valve Reconstruction (Ozakiprocedure)

（東邦大学医療センター大橋病院心臓血管外科） 清原 久貴

経皮的左心耳閉鎖術は心房細動における塞栓症予防の最適手か？～内科の立場から検証する～

（三井記念病院循環器内科） 阿佐美匡彦

非弁膜症性心房細動に対する完全内視鏡下心臓外科手術（ウルフォーオオツカ法）

（ニューハートワタナベ国際病院ウルフォーオオツカ低侵襲心房細動手術センター） 大塚 俊哉

デザートセミナー 2

15:10-16:00

共催：アボットメディカルジャパン合同会社
座長（北里大学医学部循環器内科学） 阿古 潤哉

心不全治療におけるデバイス療法の有用性

～ Ablation / CRT/ MitraClip™ / LVAD ～

心房細動合併心不全治療における心房細動治療と心臓再同期療法

（群馬県立心臓血管センター循環器内科） 中村 絃規

当院における心不全治療のデバイス療法取り組み～ MitraClipからLVADまで～

（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科） 荒井 隆秀

Student Award

16:10-17:00

座長（杏林大学循環器内科）

副島 京子

座長（自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科）

藤田 英雄

審査委員長（北里大学医学部循環器内科学）

阿古 潤哉

審査委員（済生会横浜市東部病院こどもセンター総合小児科）

岩本 眞理

審査委員（昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門）

浅野 拓

審査委員（日本大学病院循環器内科）

松本 直也

II-15 肥大心の原因として心アミロイドーシスと肥大型心筋症の合併を認めた2例

（昭和大学医学部） 矢島 瑞己

（昭和大学医学部法医学講座） 松山 高明

（昭和大学藤が丘病院循環器内科） 曾根 浩元、森 敬善、鈴木 洋

（昭和大学内科学講座循環器内科学部門） 福岡 裕人、近藤 誠太、新家 俊郎

（昭和大学医学部臨床病理診断学講座） 解良 仁美、矢持 淑子

II-16 非感染側の静脈型胸郭出口症候群によって上肢挙上時のみ静脈閉塞の顕在化を認めたデバイス感染の一例

(埼玉医科大学医学部) 遠藤 さくら
(埼玉医科大学国際医療センター不整脈科/所沢ハートセンター) 川野 大輔
(埼玉医科大学国際医療センター不整脈科) 森 仁、田中 尚道、佐々木 渉、成田 昌隆、
松本 和久、筒井 健太、池田 礼史、加藤 律史、
松本 万夫
(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 荒井 隆秀、岩永 史郎、中埜信太郎

II-17 抗凝固療法中に心原性脳塞栓症を5度発症し、左心耳閉鎖術後にも抗凝固薬を継続した、永続性心房細動の一例

(筑波大学医学類) 田中 絵理
(筑波大学医学医療系循環器内科) 小川孝二郎、山崎 浩、南 健太郎、中務 智文、
町野 智子、石津 智子

II-18 冠動脈周囲脂肪の局所CT値、原子、電子密度番号の局所計測スペクトラルCTを用いた冠動脈プラークとの関連

(千葉大学医学部医学科) 岡本 昌大
(千葉西総合病院放射線部) 宿谷 篤
(千葉西総合病院循環器内科) 三角 和雄
(千葉大学循環器内科) 小林 欣夫
(国際医療福祉大学市川病院循環器内科) 船橋 伸禎

II-19 単純心臓CTより冠動脈混合性プラークを予測する冠動脈石灰化スペクトラル分布近似曲線を用いた検討

(国際医療福祉大学医学部医学科) 山下 正陽
(千葉西総合病院放射線科) 宿谷 篤
(千葉西総合病院循環器内科) 三角 和雄
(国際医療福祉大学医学部循環器内科) 河村 朗夫
(国際医療福祉大学市川病院循環器内科) 船橋 伸禎

Resident Award

17:10-18:00

座長 (新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学) 猪又 孝元
座長 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 家田 真樹
審査委員長 (昭和大学江東豊洲病院循環器内科) 丹野 郁
審査委員 (日本大学医学部内科学系先端不整脈治療学分野) 中井 俊子
審査委員 (聖マリアンナ医科大学循環器内科) 明石 嘉浩
審査委員 (獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科) 田口 功

II-20 イバブラジンが奏功した洞性頻脈を契機に心不全が増悪した閉塞性肥大型心筋症の一例

(自治医科大学内科学講座循環器内科学部門) 永畷 貴樹
佐藤 雅史、大場 祐輔、原田 顕治、荻尾 七臣

II-21 基礎疾患に応じた各SGLT2阻害薬の効果の比較：ネットワークメタ解析

(亀田総合病院卒後研修センター) 可児 涼真
(Department of Medicine, Icahn School of Medicine at Mount Sinai, Mount Sinai Beth Israel) 渡邊 淳之
(東京大学附属病院腎臓・内分泌内科) 宮本 佳尚
(Department of Epidemiology, Johns Hopkins Bloomberg School of Public Health) 江尻健太郎
(筑波大学医学医療系ヘルスサービスリサーチ分野) 岩上 将夫
(静岡医療センター心臓血管外科) 高木 寿人
(Division of General Internal Medicine and Health Services Research, David Geffen School of Medicine at UCLA) 津川 友介
(北海道循環器病院循環器内科) 相川 忠夫
(Division of Cardiology, Montefiore Medical Center, Albert Einstein College of Medicine) 工野 俊樹

II-22 偽閉経療法中に発症した二度の特発性冠動脈解離においてCT/MRIの併用が診断に有用であった一例

(東京大学医学部附属病院循環器内科)

伊藤 豪

菊池 宏信、小寺 聡、桐山 皓行、齋藤 暁人、
三浦 瑞樹、田中 亮平、蛭間 貴司、進藤 彰人、
小島 敏弥、武田 憲文、森田 啓行

II-23 スマートウォッチでは検出できないもののホルター心電図で再発を検知した発作性心房細動の一例

(杏林大学附属病院医学部循環器内科)

朝倉 来実

毛利 崇人、池脇 宏嗣、勝目 有美、田代 身佳、
野々口紀子、星田 京子、富樫 郁子、上田 明子、
松尾征一郎、佐藤 俊明、副島 京子

II-24 マラソン大会中に心肺停止をきたした冠攣縮性狭心症壮年男性に皮下植込み型除細動器植込みを施行した一例

(土浦協同病院循環器内科)

數田茉莉子

土居 惇一、石沢 太基、平野 秀典、仲田 恭崇、
原 聡史、佐藤 慶和、三輪 尚之、久佐 茂樹、
蜂谷 仁

第Ⅲ会場

一般演題 セッション3 先天性

10:00-10:45

座長（自治医科大学内科学講座循環器内科学部門） 小形 幸代

座長（新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学） 藤木 伸也

Ⅲ-1 鉄欠乏性貧血を契機に診断された高齢女性の動脈管開存症の一例

（藤沢湘南台病院循環器内科）

中村 悠城

金 侑濤、山田 優、大野 哲、大野 陸記、

福島 裕介

Ⅲ-2 僧帽弁術後に合併した心房細動に対し、複数回のカテーテルアブレーションを要したWilliams症候群の一例

（自治医科大学医学部）

田澤 諒

（自治医科大学附属病院循環器内科）

今井 靖、渡部 智紀、渡邊 裕昭、甲谷 友幸、

菊尾 七臣

Ⅲ-3 MYH11遺伝子変異を伴う若年発症胸部大動脈解離の一例

（自治医科大学医学部）

肥谷 うちな

（自治医科大学附属病院循環器内科）

今井 靖、菊尾 七臣

（自治医科大学附属病院心臓血管外科）

相澤 啓、川人 宏次

Ⅲ-4 心房細動アブレーション中での中隔穿刺後に右左短絡となり、低酸素血症が遷延し、術後診療に難渋した一例

（筑波大学附属病院循環器内科）

須藤 雄太

小川孝二郎、木野 旅人、中務 智文、川松 直人、

五十嵐 都、石津 智子、家田 真樹

Ⅲ-5 失神を契機に発見された右冠動脈起始異常の1例

（新潟大学医歯学総合病院循環器内科）

澤口 源太

久保田直樹、斎藤 広大、土谷 浩気、袴田 崇裕、

池上龍太郎、八木原伸江、保屋野 真、猪又 孝元

Ⅲ-6 部分肺静脈還流異常による肺高血圧の評価に運動負荷心エコー図検査が有用であった一例

（武蔵野赤十字病院循環器科）

加地 大悟

大方信一郎、三澤 透、宮崎 亮一、金子 雅一、

李 哲民、永田 恭敏、野里 寿史、足利 貴志

（武蔵野赤十字病院心臓外科）

吉崎 智也

成人先天性心疾患セッション

11:10-12:20

座長（国際医療福祉大学医学部循環器内科） 田村 雄一

成人先天性心疾患—最近の話題と各施設の取り組み—

「長期フォローアップからみた心房中隔欠損症の至適閉鎖時期」

（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科）

長谷川早紀

Brain-Heart Teamで議論される成人先天性心疾患

（埼玉医科大学国際医療センター心臓内科）

中埜信太郎

「自立支援としての教育入院プログラム」

（神奈川県立こども医療センター循環器内科）

柳 貞光

成人先天性心疾患×データサイエンス
(横浜市立大学附属病院次世代臨床研究センター/循環器内科) 仁田 学

ランチョンセミナー3 12:30-13:20 共催：エドワーズライフサイエンス株式会社
座長 (埼玉県立循環器・呼吸器病センター) 村上 彰通
座長 (上尾中央総合病院) 緒方 信彦

ASのエコー診断と治療戦略アップデート～専門医が抑えるべきポイントを整理する～

術後を見据えたASの治療戦略を整理する
(埼玉石心会病院) 清水 篤

エコー医の視点からASの術前診断のポイントを整理する
(獨協医科大学埼玉医療センター) 板橋 裕史

一般演題 セッション4 弁膜症

14:00-15:00 座長 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 中島 淑江
座長 (信州大学医学部附属病院循環器内科) 植木 康志

Ⅲ-7 経カテーテル的大動脈弁置換術後、右第一趾に親水ポリマー塞栓を認めた一例
(柏崎総合医療センター循環器内科) 平山 頌
(新潟大学歯学部総合研究科循環器内科学) 鷺山 雄三、長谷川祐紀、米山晋太郎、大久保健志、
藤木 伸也、池上龍太郎、保屋野 真、猪又 孝元

Ⅲ-8 経皮的バルーンパンピング補助下の重度僧帽弁逆流に対し経皮的僧帽弁接合不全修復術が奏功した一例
(湘南鎌倉総合病院循環器科) 佐藤 大介
松本 崇、宮下 紘和、落合 智紀、山口 昌志、
森山 典晃、飛田 一樹、宍戸 晃基、水野 真吾、
齋藤 滋

Ⅲ-9 大動脈弁狭窄症患者における経カテーテル的大動脈弁留置術前後の6分間歩行距離と心音変化
(北里大学大学院医療系研究科機能回復学修士課程) 小松 拓巳
(北里大学医療衛生学部) 東條美奈子
(北里大学病院リハビリテーション部) 苅谷 英紀、宮城 しほ、濱崎 伸明
(北里大学医学部循環器内科学) 藤吉 和博、前川 恵美、目黒健太郎、阿古 潤哉
(NTT物性科学基礎研究所バイオメディカル情報科学研究センタ) 中島 寛、柏野 邦夫、友池 仁暢

Ⅲ-10 末期腎不全、重症僧帽弁閉鎖不全を伴う虚血性心筋症に対する治療方針の決定に苦慮した一例
(日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科) 鈴木 裕貴
塩村 玲子、蜂須賀誠人、木村 徳宏、澁谷 淳介、
中田 淳、宮地 秀樹、山本 剛
(日本医科大学循環器内科) 渡邊 将央、浅井 邦也
(榊原記念病院循環器内科) 北村 光信、高見澤 格

Ⅲ-11 Hunter症候群 (ムコ多糖症Ⅱ型) 合併の重症大動脈弁閉鎖不全症に対して大動脈弁置換術が施行された一例
(信州大学医学部附属病院循環器内科) 富岡 哲也
三枝 達也、大熊ゆかり、柏木 大輔、植木 康志、
加藤 太門、南澤 匡俊、海老澤聡一朗、
岡田 綾子、元木 博彦、桑原宏一郎

Ⅲ-12 経カテーテル大動脈弁置換術18ヶ月後に脳梗塞を発症、CTで狭小化したバルサルバ洞に血栓を認めた一例

(東京済生会中央病院臨床研修室) 中井 優作
(東京都済生会中央病院循環器内科) 長谷川 祐、伊崎慶史郎、亀山 翔平、増田 光佑、
谷口 枝穂、大平 麻貴、藤井 佑樹、武井 眞、
遠藤 彩佳、平田 直己、鈴木 健之、高橋寿由樹

Ⅲ-13 経皮的動脈弁留置術を施行された血液透析患者と非透析患者での解剖学的特徴と予後の比較に関する検討

(聖マリアンナ医科大学循環器内科) 吉田 俊哉
奥野 泰史、榎田 真吾、甲斐 貴彦、佐藤 如雄、
古賀 将史、奥山 和明、石橋 祐記、田邊 康宏、
出雲 昌樹、明石 嘉浩
(聖マリアンナ医科大学薬理学) 木田 圭亮
(聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院循環器内科) 小林 芳邦
(聖マリアンナ医科大学東横病院循環器内科) 鈴木 規雄

Ⅲ-14 無冠尖の高度石灰化によるAVAの保たれた重症大動脈弁狭窄症の一例

(東京医科大学病院循環器内科) 森 かおり
笠原 智大、松尾 礼、小松 一貴、山下 淳、
武井 康悦、里見 和浩

デザートセミナー3

15:10-16:00

共催：バイエル薬品株式会社

座長 (東松山医師会病院)

松本 万夫

「循環器Generalistとしての心得 ～隠された真実を臨床に活かす～」

(日本大学医学部内科学系循環器内科学分野) 奥村 恭男

一般演題 セッション5 心内膜炎

16:10-16:55

座長 (東京女子医科大学循環器内科) 上野 敦子

座長 (自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 宇賀田裕介

Ⅲ-15 経食道超音波検査により診断へ至った経カテーテル的大動脈弁留置術後弁輪部膿瘍

(国立病院機構相模原病院循環器内科) 山本明日香
(国立病院機構相模原病院循環器内科/横浜市立大学附属病院循環器内科) 森田有紀子、岡島 裕一、福岡 雅浩、木根 佑奈、
関矢 圭祐
(横浜市立大学附属病院循環器内科) 日比 潔

Ⅲ-16 フレイルな高齢者が人工弁感染を来した時のジレンマ

(総合東京病院心臓血管外科) 宮下 桃
前場 覚、砂田 将俊、伊藤 卓也

Ⅲ-17 弁動揺を伴う置換弁性感染性心内膜炎に対し大動脈弁置換術を施行した一例

(東京女子医科大学循環器内科) 堀内 充
春木 薫、田中友佳子、吉村 麻未、齋藤 千紘、
芦原 京美、山口 淳一
(東京女子医科大学心臓血管外科) 新浪 博士

Ⅲ-18 16SrRNA遺伝子解析により同定し得たSpodiobacter cordisによる感染性心内膜炎 (IE) の一例

(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科) 齊藤 亜実
山本 真吾、藤田 英雄
(自治医科大学附属さいたま医療センター総合診療科) 末田敬志朗、福地 貴彦、菅原 斉
(自治医科大学附属病院感染症科) 瀬戸那由太、鈴木 貴之
(自治医科大学感染症・免疫講座細菌学部門) 渡邊 真弥、崔 龍洙

- Ⅲ-19 先天性心疾患術後の感染性心内膜炎
(日本赤十字社医療センター循環器内科) 曾根田佳久
和田 七海、越田 直也、山本 溪介、瀧澤 雅隆、
魚住 博記、池ノ内 浩
- Ⅲ-20 MRSA感染性心内膜炎による僧帽弁破壊部位に巨大疣贅が嵌頓し僧帽弁逆流を認めなかったの一例
(昭和大学藤が丘病院循環器内科) 山内 彰人
土至田 勉、石井 優紀、和田 大輔、田代 一真、
江波戸美緒、鈴木 洋
(昭和大学江東豊洲病院心臓血管外科) 山口 裕己、中村 裕昌、上野 洋資

第Ⅳ会場

教育セッションⅣ

9:00-10:30

座長 (所沢ハートセンター循環器科) 桜田 真己
座長 (埼玉医科大学総合医療センター心臓内科) 松陰 崇

安定型狭心症へのアプローチ

安定冠動脈疾患の診断の進め方

(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 新家 俊郎

安定型狭心症へのアプローチ～内科治療～

(帝京大学医学部内科学講座・循環器内科) 上妻 謙

安定狭心症の冠動脈インターベンション治療戦略が困難な場合について

(所沢ハートセンター循環器科) 三宅 隆之

一般演題 セッション6 肺高血圧

10:40-11:10

座長 (平塚共済病院循環器科) 大西 祐子
座長 (山梨大学医学部附属病院循環器内科) 吉崎 徹

Ⅳ-1 診療データベースを用いた心血管疾患を合併した肺動脈性肺高血圧症患者の実態調査

(ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフェアーズ本部) 浅野 大樹
北原 和樹、大村 淳一

Ⅳ-2 肺動脈吸引細胞診で生前に診断しえた、直腸癌末期の肺腫瘍血栓性微小血管症 (PTTM) の1剖検例

(JAとりで総合医療センター循環器内科) 林 恭史
保田惇ノ介、村上 理子、粟根 隆介、金田 俊雄、
鈴木 雅仁、山本 貴信、服部英二郎
(東京医科歯科大学病院循環器内科) 笹野 哲郎

Ⅳ-3 抗リン脂質抗体症候群による肺血栓塞栓性肺高血圧に強皮症に伴う肺動脈性肺高血圧症の併存が疑われた一例

(山梨大学医学部附属病院循環器内科) 土屋 健
中村 和人、植松 学、江口 実佑、安藤 涼太、
渡邊 陽介、佐藤 明

Ⅳ-4 肺動脈塞栓症による右心負荷から膝窩動脈内に奇異性塞栓を生じた一例

(平塚共済病院循環器内科) 新井 亮太
村本 容崇、柏 良之輔、宮崎 紘子、羽生 佳弘、
荒木 恵子、飯谷 宗弘、秋吉 基光、岩井 慎介、
小林 一志、大西 祐子

一般演題 セッション7 デバイス

11:15-12:20

座長 (須賀医院循環器内科) 須賀 幾
座長 (東京医科歯科大学病院循環器内科) 西村 卓郎

Ⅳ-5 心房リード穿孔によると考えられる右気胸に対して保存的に経過観察し得た1例

(総合東京病院循環器内科) 都築 一平
西尾 智、滝村由香子、谷口凜太郎、田島 愛美、
牧野 憲嗣、山口 幸宏、河野 真美、滝村 英幸、
中野 雅嗣、塚原 玲子

IV-6 結節性動脈炎に伴う右総腸骨静脈高度狭窄に対しリードレスペースメーカを留置しえた完全房室ブロックの一例

(日本大学医学部内科学分野循環器内科学) 岩田良太郎
磯 一貴、奥村 恭男、松本 直也、横山 勝章、
深町 大介、八木 司、門傳 昌樹、渡辺 洋司

IV-7 CRT non-responderにLeft bundle branch-optimized cardiac resynchronizationを行った慢性心不全の一例
(SUBARU健康保険組合太田記念病院)

横森 広樹
齋藤 翔太、北野 奨真、鮫島 雄祐、矢口 知征、
武中 宏樹、根本 尚彦、安齋 均

IV-8 植え込み後40年以上経過したペースメーカリードを経静脈的に抜去しえた一例
(国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院循環器内科)

酒井 瑛子
角田 貴大、清水 厚哉、三須 彬生、立石 遼、
山口 正男、加藤 信孝、島田 博史、一色 亜美、
鈴木 秀俊、清水 雅人、藤井 洋之、鈴木 誠
(東京医科歯科大学病院循環器内科) 笹野 哲郎

IV-9 リードレスペースメーカ植え込み時に観察された一時的ペースメーカによる心嚢液貯留の1例
(昭和大学藤が丘病院初期臨床研修センター)

(昭和大学藤が丘病院循環器内科) 相羽 萌子
間瀬 浩、杉山 拓士、大村 歩、小貫 龍也、
鈴木 洋

IV-10 当院における完全皮下植え込み型除細動器 (S-ICD) 通算7年104例の経験
(埼玉医科大学国際医療センター心臓病・脳卒中センター外来)

金井 利沙
寺崎 義貴
(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 加藤 律史、筒井 健太、池田 礼史、森 仁、
松本 和久、成田 昌隆、佐々木 渉、工藤 大輔、
田中 尚道
(埼玉医科大学国際医療センター MEサービス部) 古賀 悠介

IV-11 MicraTM-AVにおける房室同期率に影響を与える因子の検討
(昭和大学医学部内科学講座循環器内科学部門)

後閑 俊彦
浅野 拓、新井 脩平、中村 友哉、猪口孝一郎、
大西 克実、新家 俊郎

IV-12 リード抜去術前日の抗凝固薬休薬により左心耳血栓を生じ、血栓摘出術を要した慢性心房細動患者の一例

(東京医科歯科大学病院循環器内科) 野崎小百美
池ノ内 孝、益本 寛之、根岸 美帆、大森 真理、
山本 佑、後藤健太郎、平澤 憲祐、西村 卓郎、
高宮 智正、落田 美瑛、田尾 進、滝川 正晃、
宮崎 晋介、笹野 哲郎

IV-13 腎機能低下例のため造影剤を使用せずにリードレスペースメーカ植え込みを行った2例
(埼玉石心会病院循環器内科)

山本 周平
入江 忠信、宇野 将太、森迫 夏実、谷 昂大、
萩原 卓思、岩崎 司、西山 茂樹、金山 純二、
柳澤 亮爾、小路 裕、飯田 隆史、池 信平、
芝崎 太郎、荒巻 和彦

ランチョンセミナー 4

12:30-13:20

共催：ポストン・サイエンティフィックジャパン株式会社/バルティスファーマ株式会社
座長（東京女子医科大学病院） 庄田 守男

『AF Total Management 塞栓と出血リスクと向き合う』

『心房細動に対する抗凝固療法の光と影』

（埼玉医科大学国際医療センター） 森 仁

『脳卒中予防を考える不整脈医は高血圧をどう治療する？～HAS-BLEDスコアを再考する～』

（千葉大学医学部附属病院） 近藤 祐介

研修医セミナー

14:00-15:00

座長（人間ハート病院循環器科/防衛医科大学校集中治療部） 高瀬 凡平

循環器薬の使い方

脂質異常症治療薬の使い方

（防衛医科大学校神経・抗加齢血管内科）

池脇 克則

佐々木 誠

（防衛医科大学校防衛医学研究センター特殊環境衛生研究部門）

遠藤 康弘

抗不整脈薬の使い方の実際とその注意点

（大分大学病態生理学/大分下郡病院）

小野 克重

デザートセミナー 4

15:10-16:00

共催：日本メドトロニック株式会社
座長（柏厚生総合病院） 藤野 祐介

心臓デバイス患者のより良い予後を目指して～徐脈治療から心不全治療へLVEF50%から始めるCRT～

（水戸済生会総合病院） 樋口 基明

一般演題 セッション 8 心不全

16:10-16:55

座長（さいたま市立病院総合内科） 秋間 崇

座長（虎の門病院循環器センター内科） 播磨 綾子

IV-14 心不全加療中に左室内血栓が出現し、抗凝固療法に難渋したHITの一例

（横須賀市立市民病院循環器内科）

野田 光里

坂 賢一郎、武内 章悟、児玉亜希子、松本 祐介、

鈴木 弘之、木村 一雄

IV-15 劇症型心筋炎との鑑別を要した超低心機能の若年性急性心不全の1例

（日本医科大学付属多摩永山病院循環器内科）

浅見 慎思

齋藤 恒徳、土井田祐子、小山賢太郎、大塚 悠介、

渡辺 允、谷 憲一、中野 博之、小谷英太郎

（日本医科大学付属病院循環器内科）

浅井 邦也

IV-16 左右シャントを有する薬剤抵抗性心不全に対し、下肢圧迫療法が著効した低心機能の1例

（東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野）

阿部 雄一

土橋慎太郎、和田 遼、平野正二郎、木内 俊介、

中西 理子、佐地 真育、藤野 紀之、天野 英夫、

池田 隆徳

- IV-17 重症の肺高血圧症を合併し、診断に苦慮した脚気心の一例
 (東京慈恵会医科大学附属柏病院循環器内科) 中山 稜
 新島 旭、櫻井 琢也、新谷健太郎、渡邊 政人、
 松本 拓也、山本 裕大、福島 啓介、木下 浩司、
 吉田 律、久保田健之、小武海公明
 (東京慈恵会医科大学内科学講座循環器内科) 吉村 道博
- IV-18 連合弁膜症による心不全を発症した高安病の一例
 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 杉本 英純
 橋本 剛、和賀 早理、矢崎 義行、林 典行、
 池田 長生、中村啓二郎、飯島 雷輔、原 英彦、
 諸井 雅男
- IV-19 循環器疾患を合併した2型糖尿病患者におけるルセオグリフロジンODフィルムの治療効果とBNP値に及ぼす影響
 (入間ハート病院循環器科／防衛医科大学校集中治療部) 高瀬 凡平
 (入間ハート病院循環器科) 林 克己、久保 哲也、永田 雅良
 (防衛医科大学校集中治療部) 眞崎 暢之

第V会場

一般演題 セッション9 不整脈1

9:00-10:00

座長 (東京医科歯科大学循環器内科) 田尾 進
座長 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 筒井 健太

V-1 チザニジンによる薬剤性洞徐脈をきたした症例
(横浜医療センター)

菊池 健介
塚本 圭、武久 佳央、菊池 春香、廣部 航平、
松井 優子、前田 遼造、齋藤 貴士、森 文章

V-2 完全房室ブロックを伴う重度左室収縮不全に対して、心房細動アブレーション治療が有効であった一例
(北里大学医学部循環器内科)

春木 耀介
石末 成哉、小木曾 翔、村山 友介、斎藤 大樹、
小林 周平、中村 洋範、岸原 淳、深谷 英平、
庭野 慎一、阿古 潤哉

V-3 心室細動の原因がQT延長症候群と考えられたが、経過中に心アミロイドーシスと判明した一例
(埼玉医科大学国際医療センター不整脈科)

川野 大輔
加藤 律史、田中 尚道、佐々木 渉、成田 昌隆、
松本 和久、森 仁、筒井 健太、池田 礼史、
松本 万夫
(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 荒井 隆秀、岩永 史郎、中埜信太郎

V-4 リアノジン受容体遺伝子変異を認めた家族性カテコラミン誘発性多形性心室頻拍の一例
(川口市立医療センター循環器内科)

庄司 泰城
林田 啓、増田 光、新井 基広、笹 優輔、
須貝昌之助、渥美 渉、池田 敦、立花 栄三、
國本 聡

V-5 持続性心房細動に対するカテーテルアブレーション後に急性大動脈解離を発症した一例
(群馬県立心臓血管センター)

松尾 佑治
後藤 貢士、近藤 侃、青木 秀行、吉村 真吾、
佐々木健人、三樹 祐子、武 寛、粕野 健一、
中村 紘規、内藤 滋人

V-6 Usefulness of a novel Octaray catheter for evaluation of a pediatric patient with WPW syndrome
(埼玉医科大学国際医療センター小児心臓科)

鍋嶋 泰典
住友 直方
(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 森 仁

V-7 MA塞栓後の長期持続型心房細動に胸腔鏡下心房細動手術を施行した1例
(千葉西総合病院心臓血管外科)

中山 泰介
中村 喜次、牛島 将希、安元 勇人、吉山 大貴、
黒田 美穂、澤 真太郎、伊藤雄二郎、鶴田 亮、
古舘 晃

V-8 リードレスペースメーカ挿入後に穿刺部感染を合併した1例
(東京臨海病院循環器内科)

柴原 研太
園田 和正、澤田 昌成、江舘 康柔、右田 卓、
向後 隆章、河内 啓子、野本 和幹

一般演題 セッション10 不整脈2

10:10-11:10

座長 (北里大学循環器内科学) 中村 洋範

座長 (日本大学医学部内科学系循環器内科学分野) 黒川早矢香

V-9 心室中部肥大型心筋症を背景とした反復性持続性心室頻拍に対して薬物療法が効果的であった一例

(草加市立病院循環器内科) 廣井 駿太

東山 陽子、工藤 侃、田代 燦、戸舎 稚詞、

須藤 悠太、古浦 賢二、岡田 寛之、稲垣 裕

(東京医科歯科大学病院循環器内科) 笹野 哲郎

V-10 機械学習を用いたクラスタリング解析と外部データでの検証による心房細動のフェノタイプニング

(日本大学医学部内科学系循環器内科学) 齋藤 佑記

永嶋 孝一、奥村 恭男

(順天堂大学循環器内科) 宮内 克己、西崎 祐史、宮崎彩記子、林 英守、

代田 浩之、南野 徹

V-11 Superior slow pathway及びleftward inferior extensionの2種類の逆行性伝導を有したFast-Slow AVNRTの一例

(埼玉医科大学国際医療センター) 松本 和久

田中 尚道、佐々木 渉、成田 昌隆、森 仁、

筒井 健太、池田 礼史、加藤 律史

V-12 心房細動アブレーション後に高度肺静脈狭窄をきたした3症例

(自治医科大学内科学講座循環器内科学部門) 岩間 春佳

上岡 正志、渡邊 裕昭、小古山由佳子、

渡部 智紀、原田 顕治、船山 大、今井 靖、

菊尾 七臣

V-13 RHYTHMIA HDxマッピングシステムを用いて同定しえたPVI後のBatrial tachycardiaの一例

(昭和大学江東豊洲病院臨床研修医) 小澤 和正

(昭和大学江東豊洲病院循環器内科) 古屋 貴宏、浅川 将輝、草壁 優太、相澤 直樹、

柴田 恵多、佐藤 千聡、西藏 天人、池田 尚子、

若林 公平、丹野 郁

V-14 左側副伝導路に対するカテーテルアブレーション後に腎梗塞を発症した1例

(東京都立墨東病院循環器科) 越 悠仁

市原 登、齊田 冠斗、石塚 祐紀、長谷川皓紀、

須藤 篤史、大竹 正紘、伊藤実希子、長塩 憲司、

青山 拓令、平野 仁士、大橋 浩一、高山 陽、

黒木 識敬、安倍 大輔

V-15 偽性アルドステロン症が背景にあり手術操作が契機となって心室細動に至った1例

(鎌ヶ谷総合病院心臓血管外科) 川谷 洋平

堀 隆樹

V-16 Novel mapping strategyを用いて非肺静脈起源トリガーおよびドライバーを同定し得た発作性心房細動症例

(土浦協同病院循環器内科) 土居 惇一

三輪 尚之、石沢 太基、平野 秀典、仲田 恭崇、

原 聡史、佐藤 慶和、久佐 茂樹、蜂谷 仁

一般演題 セッション11 不整脈3

11:20-12:20

座長 (筑波大学医学医療系循環器内科) 五十嵐 都
座長 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科・不整脈科) 森 仁

V-17 頻脈性心房細動に伴ううっ血性心不全治療中に冠攣縮性狭心症による心室細動を発症した一例

(総合病院国保旭中央病院循環器内科)

佐橋 秀一
矢島 琴音、荒川 雅崇、市原 慎也、平野 智士、
井ノ口安紀、早川 直樹、宮地浩太郎、櫛田 俊一

V-18 COVID-19感染に伴う発熱を契機として致死性不整脈を発症したBrugada症候群の1例

(さいたま赤十字病院循環器内科)

池口 琴乃
稲葉 理、成田 岳、峯岸 昌代、目黒 眞、
中田健太郎、道下 俊希、磯長 祐平、加藤 駿一、
高野 寿一、大屋 寛晃、羽田 泰晃、狩野 実希、
高木 崇光、稲村 幸洋、根木 謙、佐藤 明、
大和 恒博、松村 穰

V-19 心原性失神を示唆する所見を見落とさず、入院としたため救命し得た一例

(横浜労災病院循環器内科)

森下ふう菜
本道 春花、福澤 朋幸、田中 真吾、青木 元、
柚本 和彦

(横浜労災病院不整脈科)

浅野 駿逸、小和瀬晋弥、長田 淳

V-20 リチウム中毒に伴う洞不全症候群をきたした双極性障害の1例

(北里大学医学部循環器内科)

桂 直之
中村 洋範、小木曾 翔、村山 友介、斎藤 大樹、
小林 周平、石末 成哉、岸原 淳、深谷 英平、
庭野 慎一、阿古 潤哉

V-21 慢性膿皮症を合併した発作性心房細動に対して、MICS-肺静脈隔離+左心耳クリップ手術を施行した一例

(日本医科大学心臓血管外科)

辻 杏奈
網谷 亮輔、平山 愛子、村田 智洋、泉二 佑輔、
上田 仁美、宮城 直人、佐々木 孝、丸山 雄二、
宮城 泰雄、石井 庸介

(日本医科大学循環器内科)

岩崎 雄樹、浅井 邦也

V-22 心腔内エコーとvoltage mapを用いて安全に心房中隔穿刺を行うことが出来た心房中隔欠損症外科手術後の一例

(埼玉医科大学国際センター心臓内科)

佐々木 渉
森 仁、工藤 大輔、田中 尚道、成田 昌隆、
松本 和久、筒井 健太、池田 礼史、加藤 律史

(東松山医師会病院)

松本 万夫

V-23 早期再分極症候群に伴う薬剤抵抗性の心室細動に対してカテーテルアブレーションが奏功した一例

(東京医療センター循環器内科)

松岡 勇樹
稲川 浩平、青山 真之、角田那由香、橋本 健司、
西村 崇文、宮崎 良央、谷本 陽子、谷本耕司郎、
坂本 宗久、樺山 幸彦

V-24 アブレーション治療におけるデクスメトミジン投与で薬剤性冠攣縮性狭心症を発症した一例
 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 田中 尚道
 加藤 律史、池田 礼史、筒井 健太、森 仁、
 松本 和久、成田 昌隆、佐々木 渉
 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科/所沢ハートセンター) 工藤 大輔
 (東松山医師会病院) 松本 万夫

ランチョンセミナー5 12:30-13:20 共催：ニプロ株式会社
 座長 (東京医科大学循環器内科) 山下 淳

「重症心不全治療のロードマップー急性期のMCS治療からLVADまでの1例ー」

「強心薬依存となった心筋梗塞後の治療ストラテジーと移植施設との連携」
 (聖隷浜松病院循環器科) 鈴木 利章

「重症心不全患者を救う繋がり～LVAD治療へのブリッジ～」
 (東京女子医科大学病院心臓血管外科) 市原 有起

教育セッションⅡ

14:00-15:30 座長 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 岩永 史郎
 座長 (埼玉医科大学心臓内科) 山本 啓二

二次性心筋症アップデート

二次性心筋症の診断と画像診断
 (東海大学医学部内科学系循環器内科) 永井 知雄

二次性心筋症の治療
 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 中埜信太郎
 荒井 隆秀
 (自衛隊中央病院循環器内科) 湯手 庸道

二次性心筋症の病理形態学的診断と鑑別ー心筋生検標本と病理肉眼像の比較ー
 (昭和大学医学部法医学講座) 松山 高明

一般演題 セッション12 心筋炎・心筋症1

16:10-16:55 座長 (防衛医科大学校循環器内科学) 長友 祐司
 座長 (イムス葛飾ハートセンター循環器内科) 竹中 創

V-25 多発脳梗塞を契機に好酸球性心筋炎の診断に至った好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の一例
 (湘南鎌倉総合病院) 北見 有以
 佐藤 大介、内田 修平、小山 瑛司、玉城 優介、
 宮下 紘和、横山 裕章、小山 右文、山下 享芳、
 落合 智紀、山口 昌志、森山 典晃、飛田 一樹、
 松本 崇、穴戸 晃基、水野 真吾、山中 太、
 田中 穰、村上 正人、高橋佐枝子

V-26 たこつば型心筋症を合併したQT延長症候群の一例
 (イムス葛飾ハートセンター循環器内科) 小倉聡一郎
 飯田 大輔、上野 明彦、原 信博、中尾 元栄、
 竹中 創、奥野 友信、榊原 雅義

- V-27 機械的補助循環で救命した若年女性に生じた劇症型心筋炎の一例
 (済生会横浜市東部病院循環器内科) 藤井陽太郎
 伊藤 良明、山脇 理弘、小林 範弘、毛利 晋輔、
 堤 正和、本多 洋介、水澤 真文、白井 重光、
 山口 航平、岸田登志彦、深川 知哉、香西 祐樹、
 瀬戸長雄介、村井 篤弥、谷中 夏海
- V-28 右室流出路に腫瘤様病変を形成した心サルコイドーシスの1例
 (東京女子医科大学病院循環器内科) 河西 寛子
 坂井 晶子、中澤まゆい、野本美智留、鈴木 敦、
 嵐 弘之、山口 淳一
 (東京女子医科大学病院放射線科) 長尾 充展
- V-29 経皮的人工心肺補助を用いて救命しえた、重症たこつぼ型心筋症の一例
 (自衛隊中央病院循環器内科) 竹内 篤史
 前河原慧則、田原 舞、荒川 純子、木村 豊和
 (国家公務員共済組合連合会三宿病院循環器科) 潟手 庸道、山家 充起、大崎 歩
- V-30 致死性不整脈発生を契機に血行動態破綻を来した逆たこつぼ型心筋症による急性僧帽弁閉鎖不全症の一例
 (日本大学医学部循環器内科) 島田えりか
 小嶋 啓介、高橋くらら、八田 拓海、新井 陸、
 村田 伸弘、遠山 一人、奥村 恭男
- 一般演題 セッション13 心筋炎・心筋症2**
 17:00-17:35 座長 (帝京大学医学部附属病院循環器内科) 川嶋 秀幸
 座長 (国立病院機構東京医療センター循環器内科) 谷本 陽子
- V-31 劇症型心筋炎加療中に下肢コンパートメント症候群を合併し救命できた一例
 (帝京大学医学部附属病院循環器内科) 齋藤 仁文
 川嶋 秀幸、井関 洋成、土田 泰之、藤井美佐子、
 片岡 明久、渡邊 雄介、横山 直之、上妻 謙
- V-32 心エコー図による形態的評価よりも心筋生検が診断に有用であった心臓サルコイドーシスの1例
 (昭和大学医学部内科学講座・循環器内科) 上野 倫平
 塚本 茂人、酒井 陸郎、佐藤 俊弥、大石 庸介、
 新家 俊郎
 (昭和大学医学部法医学講座) 松山 高明
- V-33 たこつぼ症候群の亜急性期に心破裂を起こした1例
 (国立病院機構東京医療センター循環器内科) 開田 大輝
 宮崎 良央、青山 真之、角田那由香、橋本 健司、
 西村 崇文、稲川 浩平、谷本 陽子、坂本 宗久、
 樺山 幸彦、谷本耕司郎
- V-34 病理診断前に免疫抑制療法を施行し救命し得た劇症型心筋炎の一例
 (埼玉県済生会加須病院循環器内科) 蔡 梨華
 藤田 元博、菅原 洋平、岸原 誠、菊池 保宏、
 木村 祐也、新井 清仁、寺嶋 豊

V-35 ペムプロリズマブによる心筋炎、心膜炎が疑われた一例

(湘南鎌倉総合病院総合内科)

乙幡 耕平

(湘南鎌倉総合病院循環器科)

清水 邦彦、佐藤 大介、山口 昌志、内田 修平、
小山 瑛司、玉城 優介、宮下 紘和、横山 裕章、
山下 享芳、落合 智紀、森山 典晃、飛田 一樹、
松本 崇、穴戸 晃基、山中 太、水野 真吾、
田中 稜、齋藤 滋

第Ⅵ会場

一般演題 セッション14 心膜・腫瘍/腫瘍循環器

10:00-11:05

座長（日本医科大学付属病院循環器内科）松田 淳也
座長（総合東京病院循環器内科）田島 愛美

- VI-1 心不全の原因としてIgG4関連心膜炎が疑われた一例
（東京警察病院循環器科）金子 光伸
野口 祐、奈良 有悟、門平 忠之、寺井 知子、
笠尾 昌史
- VI-2 A case of symptomatic Cardiac Myxoma treated with Robot-Assisted (Keyhole) Surgery
（ニューハート・ワタナベ国際病院心臓血管外科）宮城 基
瀬口 龍太、堀川 貴史、小坏 徹、富田 重之、
石川 紀彦、大塚 俊哉、渡邊 剛
- VI-3 心房中隔脂肪性肥大を伴った心房細動に対してカテーテルアブレーションを行った1例
（総合東京病院循環器内科）西尾 智
谷口凛太郎、都築 一平、田島 愛美、牧野 憲嗣、
山口 幸宏、河野 真美、滝村 英幸、滝村由香子、
中野 雅嗣、塚原 玲子
- VI-4 食道癌の放射線治療後20年で発症した収縮性心膜炎の1例
（昭和大学内科学講座循環器内科学部門）甲斐 陽介
辻田 裕昭、石川 貴将、豊崎 瑛士、福岡 裕人、
望月 泰秀、新家 俊郎
- VI-5 完全房室ブロックを契機に診断された心臓腫瘍の一例
（新百合ヶ丘総合病院循環器内科）清川 篤
前野 遼太、中島 聡良、田仲 明史、秋元 耕、
福島 琢、高橋 良英、櫻井 馨、畔上 幸司
- VI-6 消退と出現をくり返した左房内腫瘤の一例
（JCHO東京新宿メディカルセンター）野久保有沙
坂本 知也、今村 堂大、橋崎 容史、谷地 織、
斉藤 哲也
- VI-7 心嚢液貯留を繰り返し心臓血管肉腫の診断に至った一例
（国立国際医療研究センター循環器内科）寺島 諒
三宅 渉、鳥居 俊介、中川 堯、山本 正也、
原 久男、廣井 透雄
（国立国際医療研究センター心臓血管外科）松代 卓也、宝来 哲也
- VI-8 右室流出路狭窄を来した肺動脈腫瘍の鑑別に難渋した一例
（日本医科大学循環器内科）安念 大治
久保田芳明、寺門 誠雄、福山 曜、高圓 雅博、
太良 修平、岩崎 雄樹、浅井 邦也
（日本医科大学心臓血管集中治療科）山本 剛
（日本医科大学心臓血管外科）丸山 雄二、佐々木 孝、石井 庸介
（日本医科大学病理診断科）功刀しのぶ

VI-9 急性心筋梗塞発症から短時間で非細菌性血栓性心内膜炎と診断されたがん関連血栓症の1例

(新潟市民病院)

内田 純也

尾崎 和幸、苜部 哲也、岡村 俊孝、瀬尾 友太、
小柳 宣人、渡辺 光洋、柏 麻美、田中 孔明、
保坂 幸男、土田 圭一、高橋 和義

一般演題 セッション15 末梢血管/その他/地域医療

11:30-12:20

座長 (総合高津中央病院心臓血管センター) 山内 靖隆

座長 (東京慈恵会医科大学附属第三病院循環器内科) 宮永 哲

VI-10 出血性脳梗塞リハビリ中に急性動脈閉塞を発症し外科的血栓摘除と左心耳切除を施行した高齢心房細動の一例

(横須賀市立うわまち病院循環器内科)

大田 遼

荒木 浩、圓谷 絃乃、前田 幸佑、羽柴 克孝、
島村 浩正、泊口 哲也、黒木 茂、岩澤 孝昌、
沼田 裕一

(横須賀市立うわまち病院心臓血管外科)

新井 大輝、佐野 太一、玉井 宏一、田島 泰、
安達 晃一

VI-11 遠位尺骨動脈穿刺にてPINC (Percutaneous intraluminal needle cracking) が有効であった重症上肢虚血の1例

(総合高津中央病院心臓血管センター)

山内 靖隆

久原 亮二、高木 友誠、岡田 拓也、福田 正浩、
宮本 明

VI-12 脳静脈洞血栓症に起因したくも膜下出血で心筋逸脱酵素上昇と多様な心電図変化を呈した一例

(東京慈恵会医科大学附属第三病院循環器内科)

滝澤 優果

増谷 祐人、王 琢也、三田 光慶、香山 洋介、
宮永 哲、森 力、芝田 貴裕

(東京慈恵会医科大学附属病院循環器内科)

吉村 道博

VI-13 プラスグレル錠のSAPT内服中に後天性血友病Aを発症し、広範な皮下血腫を生じた1例

(公立阿伎留医療センター循環器内科)

松永 洋一

桐ヶ谷 泉、樫田 光夫

(公立阿伎留医療センター循環器内科/多摩総合医療センター循環器内科)

岡部 龍太

VI-14 心基部たこつぼ型心筋症による心不全・多形性心室頻拍を契機に診断された多発性硬化症の一例

(聖路加国際病院内科)

西原麻里子

(聖路加国際病院循環器内科)

宮田宏太郎、小宮山伸之

(聖路加国際病院内科)

山中 慎也

(東京大学医学部附属病院循環器内科)

戴 哲皓

(聖路加国際病院神経内科)

近藤 円香

VI-15 人工心肺非使用冠動脈バイパス後に急性症候性発作を呈した一例

(東京慈恵会大学附属病院心臓外科学講座)

小倉 翔太

有村 聡士、石割 圭一、高木 智充、松村 洋高、
益澤 明広、儀武 路雄、長堀 隆一、國原 孝

VI-16 高齢心不全患者における介護の原因

(新潟大学医歯学総合研究科循環器内科学)

土谷 浩気

藤木 伸也、柏村 健、猪又 孝元

ランチョンセミナー6

12:30-13:20

共催：日本ライフライン株式会社
座長（帝京大学医学部内科学講座・循環器内科）上妻 謙

予防的ICD植え込みの適応を探る。

（川崎幸病院循環器内科） 三浦 史晴

第16回ダイバーシティ・フォーラム

13:30-15:00

座長（医療法人社団ゆみの循環器内科）弓野 大
座長（ウエルネストクリニック/株式会社MedtechJP・株式会社ドクターズインク）薬師寺忠幸

循環器医のキャリア見本市～あんな働き方もあればこんな生き方も～

循環器医それぞれで異なる活躍のカタチ

（ウエルネストクリニック/株式会社MedtechJP・株式会社ドクターズインク） 薬師寺忠幸

専門医の多様性のある働き方 ―子育て中女性医師の一例

（ゆみのハートクリニック循環器内科） 渡辺絵梨沙

50日間の育児休業取得の経験について

（千葉大学医学部附属病院循環器内科） 伊藤 竜
（千葉大学大学院医学研究院循環器内科学） 近藤 祐介、小林 欣夫
（千葉大学大学院医学研究院不整脈先端治療学） 中野 正博、梶山 貴嗣

訪問診療医として足病に立ち向かう

（TOWN訪問診療所城南循環器内科） 宇都宮 誠

「循環器内科スポーツドクター」という働き方

（順天堂大学循環器内科/JリーグいわきFC） 福島 理文

一般演題 セッション16 大動脈/静脈

15:10-15:45

座長（東京大学医学部循環器内科） 瀧本 英樹
座長（自衛隊中央病院循環器内科） 潟手 庸道

VI-17 大動脈縮窄治療により改善が得られた心不全の一例

（防衛医科大学校病院循環器内科） 杭ノ瀬和彦
長友 祐司、安田理紗子、池上 幸憲、東谷 卓美、
眞崎 暢之、足立 健
（防衛医科大学校病院心臓血管外科） 堤 浩二

VI-18 Stanford A型大動脈解離術後、上大静脈症候群に続発したくも膜下出血の一例

（国家公務員共済組合連合会三宿病院循環器科） 内藤 貴仁
潟手 庸道、山家 充起、大崎 歩
（自衛隊中央病院） 前川原慧則、田原 舞、荒川 純子、木村 豊和

VI-19 集学的治療にて加療しえたMarfan症候群術後感染性大動脈瘤の一例

（東京大学医学部附属病院総合研修センター） 池田 清子
（東京大学医学部附属病院循環器内科） 清水 悠、網谷 英介
（東京大学医学部附属病院心臓外科） 金子 寛行、安藤 政彦、山内 治雄

VI-20 急性心筋梗塞合併A型大動脈解離に対してPCIを先行して救命した一例

（自治医科大学内科学講座循環器内科学部門） 安部加那子
清水 勇人、大場 祐輔、船山 大、荻尾 七臣

VI-21 肺塞栓症を契機に指摘された血栓を伴う下大静脈瘤を認めた一例

(独立行政法人国立病院機構東京医療センター循環器内科) 松生真貴子

宮崎 良央、坂本 宗久、谷本耕司郎、谷本 陽子、
稲川 浩平、西村 崇文、青山 真之、角田那由香

医療安全・医療倫理に関する講習会 (DVDセッション)

16:00-18:00

本セッションでは、第 87 回日本循環器学会学術集会で収録したプログラムをご覧ください。

一般社団法人日本循環器学会 支部規程

(総則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

(事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

(目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的の達成に必要な事業

(会員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。

2. 支部名誉会員/支部特別会員/支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

(社員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

(支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。

2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。

2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。
3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

(支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。

2. 支部事務局担当幹事およびJCS-ITC担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。
4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会/社員総会において会計報告及びJCS-ITC業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部評議員)

第10条 各支部に支部評議員を置くことができる。

2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法/任期/定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第 11 条 各地方会に会長 1 名を置く。

2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理/事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第 12 条 支部役員会は、支部役員で構成する。

2. 支部役員会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
 - 2) 地方会会長の選出
 - 3) 支部運営上重要な規則の承認
 - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認 (JCS-ITC 報告など)
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部社員総会)

第 13 条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
 - 2) 決定された支部長の確認
 - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
 - 4) 支部運営上重要な規則の確認
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第 14 条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年 1 回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
 - 1) 予算・決算
 - 2) 事業計画および事業報告
 - 3) 地方会会長及び地方会開催地
 - 4) 支部長の選出結果
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

第 15 条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第16条 各支部は地方会を年1回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。
5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後2ヵ月以内に完了させること。

(JCS-ITC 講習会)

第17条 各支部はJCS-ITC講習会をJCS-ITC担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20万円未満が支部長承認、20万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

支部コンプライアンス・倫理規程

(目的)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に違反、または違反するおそれのある事案をいう。

(支部役職者及び支部職員の責務)

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。

- 1) 規程について正しい知識がなかったこと
- 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
- 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

附 則

- 1) 本規程は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部運営内規

(総則)

第1条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会 支部規程を関東甲信越支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

(支部事務局)

第2条 本支部における支部事務局を東京都千代田区霞が関 1-4-2 大同生命霞が関ビル 日本コンベンションサービス株式会社内に設置する。

(支部長)

第3条

- 2年毎に行われる理事選出選挙の後、第6条2項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は7月1日からとする。
- 支部長は日本循環器学会の関東甲信越地区で選出された理事の互選によって決定され、当該年度における本支部の事務を処理する。
- 支部規程第6条の4項に沿い、支部長の任期は2年とし再任を妨げないとするが、本支部における支部長の連続して就任できる期数は2期（通算4年）までとする。
- 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部役員)

第4条

- 支部役員は、支部規程第7条1項に沿い、支部所属理事の他、支部に所属する社員から支部長が推薦した者が務める。
- 支部役員の定数は、本支部においては16名程度とする。内訳としては支部に所属する理事（関東甲信越地区、女性、小児科、外科）とその他の役員とする。
- 支部役員は、関東甲信越地区の理事が推薦する、教授または部長以上の支部所属の社員とし、任期2年で再選は妨げない。関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
- 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部監事)

第5条

- 支部規程第8条1項に定める支部監事の定数は、本支部においては2名とする。
- 支部規程第8条2項に定める支部監事の選出について、支部長が候補者を社員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。
- 監事は本支部の会計その他の事務遂行状況の監査を行うものとする。その任期は2年とし、再任はさまたげない
- 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

第6条

- 支部規程第9条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事1名、JCS-ITC 講習

- 会担当幹事 1 名、ダイバーシティ推進委員会担当幹事 1 名とし、支部役員との兼務も可能とする。
3. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
 4. 支部事務局担当幹事ならびに JCS-ITC 担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。
 5. 支部幹事は、会員の中から選出することとし、関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
 6. 支部幹事は、それぞれの業務において投資（JCS-ITC 講習会用のマネキン、事務局運営用のパソコン等）が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

（支部評議員）

第 7 条

2. 支部規程第 10 条に定める支部評議員は、現任の支部評議員の推薦により選出し、支部評議員会において承認する。
3. 推薦人は、支部評議員会予定日より 15 日以前に候補者の推薦書を支部事務局へ提出する。
4. 有資格者でありながら推薦人が見当たらない場合は、支部長が推薦人となることが出来る。
5. 支部評議員の被推薦資格は、以下の 3 項をすべて満たすこととする。
 - 1) 65 歳以下で 7 年以上日本循環器学会会員であること
 - 2) 講師又は医長以上である者、または、本会学術集会において特別講演講師、教育講演講師、シンポジウム、パネルディスカッション、ファイヤーサイドカンファランスの演者を担当したことがあるもの
 - 3) 本支部地方会において過去 5 年間に 3 演題以上発表（共同演者でよい）していること。但し、基礎研究者・外科医・小児科医については別途考慮する。

（地方会会長）

第 8 条

2. 支部規程第 11 条に定める地方会会長の選出方法は以下のとおりとする。
 - 1) 資格 : 教授または部長以上の本支部評議員
 - 2) 推薦方法 : 評議員による他薦または自薦に基づき、支部長が提案し支部役員会で選出の上、支部社員総会で承認する。
 - 3) 推薦時期 : 支部役員会開催予定日より 15 日以前に支部長に推薦書を送付する。
3. 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
4. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。
5. 地方会会長は、地方会開催場所・日程の決定を行う。
6. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
7. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
8. 地方会運営にあたる企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
9. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設する。口座

開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のもので利用出来ない体制を構築しなければならない。

10. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

(支部役員会、支部社員総会、関東甲信越地区理事会、支部評議員会)

第9条

2. 支部規程第12条に定める支部役員会は、年1回開催とする。
3. 支部規程第13条に定める支部社員総会は、年1回開催とする。
4. 関東甲信越地区理事による理事会は、年2回開催とする。
5. 支部評議員会は、年3回開催とする

(支部事務局業務)

第10条

2. 支部規程第15条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。
3. 上記1項の方法以外に、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。(契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。)

(地方会)

第11条

2. 支部規程第16条1項に定める地方会について、本支部は毎年4回地方会を開催する。
3. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会関東甲信越地方会とする。
4. 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。また、その抄録データを本会に提出する。
5. 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部より、助成金90万円を地方会事務局に交付する。助成金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
6. 地方会の参加費は要領に別途定めたとおりとするが、参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
7. 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。
8. 地方会における華やかな懇親会の開催を禁じる。
9. 地方会当日の現金(参加費)の取扱いにおいて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。
10. 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。
11. 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会口座に振込し、次回以降の地方会補助金とする。その後、口座は解約する。
12. 非会員の招請者、支部役員への待遇については要領に別途定めたとおりとするが、これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。

13. 地方会時の専門医単位登録について、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
14. 地方会演者は、発表時に定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
15. 本支部地方会会長は、若手循環器専門医の育成を目的として、Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Award を設け、各賞最優秀演題発表者1名、優秀賞2名を顕彰する。実施要領は別途定めた通りとする。

(JCS-ITC 講習会)

第12条

2. 年4回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
3. JCS-ITC 講習会の事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算 等）については支部事務局において実施する。ただし業務の円滑化を目的として、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。（契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。）
4. コース開催日程は、各支部ホームページに掲載することとする。
5. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。専用口座の取扱については、要領に別途定めたとおり慎重に行う。
6. コース開催時にコースディレクター等が立替精算をした場合は要領に別途定めたとおりに行い、不必要な経費支出は慎むこと。
7. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクを一覧化し（以下インストラクター・タスク一覧）、各自立替えしたコース開催地までの交通費を纏め、支部事務局（または外部委託している業者・個人）へ提出しなければならない。また、受講料収益と使用経費を一覧化し、コース毎の収支実績を作成し、合せて支部事務局へ提出する。
8. 各コースディレクターがコースに必要な資金を事前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 幹事のメール承認を要する。
なお、ITC 幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
9. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛での領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。
10. 支部事務局（または外部委託している業者・個人）は、提出されたインストラクター・タスク一覧、旅費申請書、領収書等に基づき、謝金（交通費・宿泊費含む）・立替金の精算を行う。また謝金源泉税分の納税を行う。（謝金額についてはJCS-ITC 規定に則る。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。）
11. 支部事務局は、収入・経費を取纏め（漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認）の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。

(支部委員会)

第13条

2. 支部長は、本支部の事業の円滑な推進を図るため必要があると認めるときは、役員会の決議を経て、委員会を設置することができる。なお、これを廃止する場合も同様とする。
3. 前条の委員会は、必要に応じて部会、小委員会を組織することができる。
4. 委員会は、目的、委員構成、業務などを規定した支部委員会内規を作成し、役員会の承認を得なければならない。
5. 委員会は、委員長1名および委員若干名で組織する。
6. 委員長は支部長が支部役員の中から指名し、役員会の議を経て選任する。
7. 必要に応じて委員の中から副委員長を置くことができる。
8. 副委員長、委員は委員長が指名し、役員会の議を経て選任する。

附則

- 1) この内規は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

令和元年9月28日一部改定

令和2年9月5日一部改定

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 学術委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部学術委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、日本循環器学会関東甲信越支部の学術活動を支援することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会の学術面の向上について検討・協議し、役員会および会長に上申する。

2) その他学術活動に対する支援に必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 情報・広報委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部情報・広報・啓発委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、本会のホームページやインターネットを利用した学会員への情報の提供、学術成果の社会への公開と還元、国内外の関連学会の情報提供交換等に関する活動を実施することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 学会のホームページの作成、管理及び運用
- 2) インターネットによる本会の情報サービス
- 3) 国内外の関連学会等との情報交換と広報活動
- 4) その他必要な業務。

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 ダイバーシティ推進委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部ダイバーシティ推進委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器学分野における男女並びに多種多様人材の共同参画の推進を図り、男女並びに多種多様人材の共同参画の視点に立った教育・研究・就業体制を確立するため、企画・立案・実施に当たることを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 国内外の関連学会・団体等との情報交換および連携
- 2) 地方会でのダイバーシティ推進セッション等の企画立案・実施
- 3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 チーム医療委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部チーム医療委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、地方会におけるコメディカルとの関わり方の検討および、コメディカル関係の諸学会との連絡調整を行う。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会におけるコメディカルの位置付けの検討および、コメディカル関係学会との連絡調整をする。

2) 関係諸学会からの依頼に応じて、本委員会において代表の派遣などを選考する。

3) 委員は、関係諸学会への渉外を担当し、外部機関の要請に応じてこれらが主催する会議等に本学会の代表として出席する。

4) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 地方会あり方検討委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部地方会あり方検討委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、地方会を活性化することを目的とし、地方会のあり方を検討・協議し、役員会および会長に上申する。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。
3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 若手、女性、メディカルスタッフの参加促進策を検討・協議する。
- 2) 地方会プログラムの充実化を検討・協議する。
- 3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 予防委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部予防委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器疾患等の予防に関する事柄について、協議・検討し、役員会上申することを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) すべての国民の循環器疾患等の予防を推進する業務。

2) 予防活動を積極的に推進し、その重要性を社会に発信する業務。

3) 循環器疾患等の予防研究の実施ならびに支援。

4) その他、循環器疾患等の予防に関する必要な業務。

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

MEMO

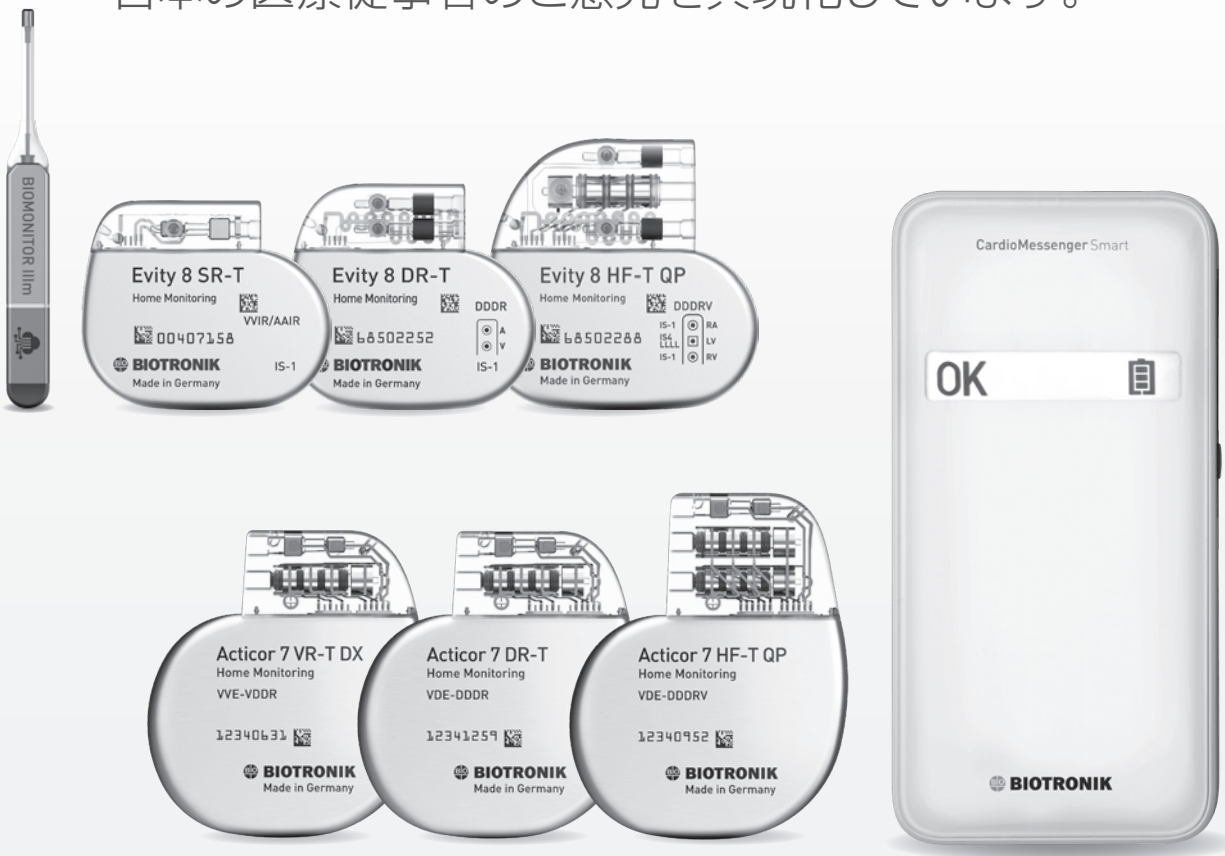
MEMO



Designed for Japan,
Made in Germany

傾聴と技術力の融合。

BIOTRONIK は、
日本の医療従事者のご意見を具現化しています。



製造販売業者
バイオトロニックジャパン株式会社
 〒150-0013
 東京都渋谷区恵比寿1-19-19 恵比寿ビジネスタワー
 Tel.03-3473-7471 Fax.03-3473-7472

外国製造業者
BIOTRONIK SE & Co. KG (ドイツ連邦共和国)

製品の詳細に関しては、製品添付の医療機器添付文書をご確認いただくか、弊社営業までお問い合わせください。

販売名: バイオモニター 3
 販売名: エヴィティ 8-T ProMRI
 販売名: エヴィティ 8 HF-T QP ProMRI
 販売名: アクティコア 7 ICD ProMRI
 販売名: アクティコア 7 ICD VR-T DX ProMRI
 販売名: アクティコア 7 CRT-D ProMRI

医療機器承認番号: 30100BZX00153000
 医療機器承認番号: 22900BZX00307000
 医療機器承認番号: 22900BZX00078000
 医療機器承認番号: 23100BZX00029000
 医療機器承認番号: 23100BZX00030000
 医療機器承認番号: 23100BZX00028000



PHILIPS

GlideLight

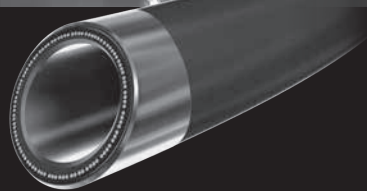
Manage Every Lead Safely. Predictably. Responsibly.

留置されたリードを安全かつ効率的に
抜去するために、優れた操作性、
高い汎用性をもつツールは不可欠です。
フィリップスでは、すべてのデバイス患者への
安全かつ責任のあるリードマネジメントに
取り組んでいます。

Together, we make life better.

innovation  you

株式会社 フィリップス・ジャパン
www.philips.co.jp/healthcare



販売名: エキシマレーザ血管形成装置医療機器
医療機器承認番号: 21300BZY00528000
高度管理医療機器/特定保守管理医療機器/設置管理医療機器

販売名: エキシマレーザ心内リード抜去システム医療機器
医療機器承認番号: 22000BZX00968000
高度管理医療機器

販売名: リードロッキングデバイスキット
医療機器承認番号: 22300BZX00190000
高度管理医療機器

販売名: Bridgeオクリュージョンバルーンカテーテル
医療機器承認番号: 23000BZI00035000
高度管理医療機器

記載されている製品名などの固有名称は、Koninklijke Philips N.V.またはその会社の
商標または登録商標です。

©2022 Koninklijke Philips N.V.

Advanced Science & Technology

私たちは緊急医療に迅速に、誠実に、的確に
対応する循環器のエキスパート集団です。



株式会社 アスト

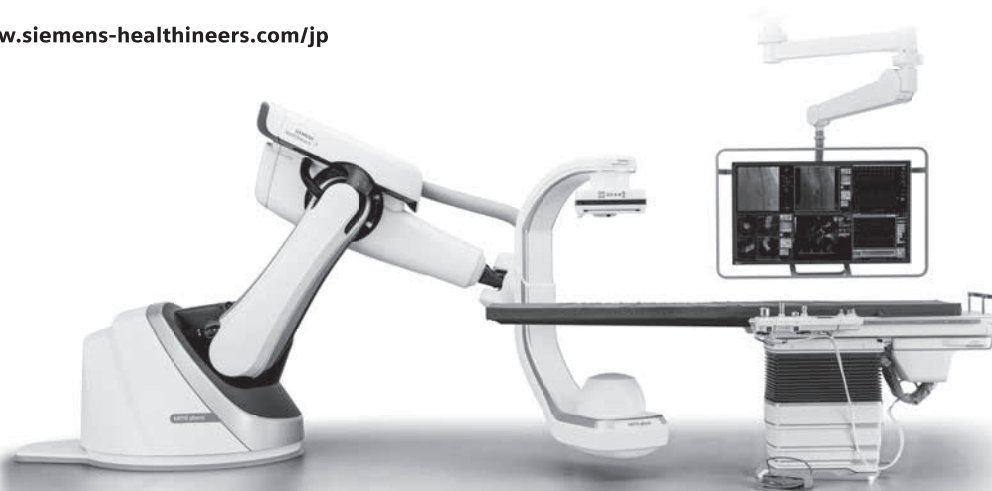
本社	〒355-0063 埼玉県東松山市元宿 2 丁目 36 番地 20	TEL 0493 (35) 1811 (代)	FAX 0493 (35) 1860
さいたま営業所	〒338-0007 埼玉県さいたま市中央区円阿弥 5 丁目 8 番 40 号	TEL 048 (859) 0011 (代)	FAX 048 (859) 0017
東京営業所	〒160-0007 東京都新宿区荒木町 23 番 15	TEL 03 (3225) 3588 (代)	FAX 03 (3225) 3566
栃木営業所	〒320-0842 栃木県宇都宮市京町 15 番 16 号	TEL 028 (639) 9088 (代)	FAX 028 (639) 9035
群馬営業所	〒371-0024 群馬県前橋市表町 1 丁目 21 番地 9	TEL 027 (220) 4366 (代)	FAX 027 (220) 4367
神奈川営業所	〒210-0024 神奈川県川崎市川崎区日進町 9 番地 1	TEL 044 (221) 6720 (代)	FAX 044 (221) 6725
千葉営業所	〒260-0045 千葉県千葉市中央区弁天 1 丁目 12 番 8 号	TEL 043 (290) 1855 (代)	FAX 043 (290) 1066
松戸営業所	〒270-2231 千葉県松戸市稔台 7 丁目 2 番地 22	TEL 047 (710) 3111 (代)	FAX 047 (710) 3188

ハイブリッド手術室対応多軸透視・撮影システム

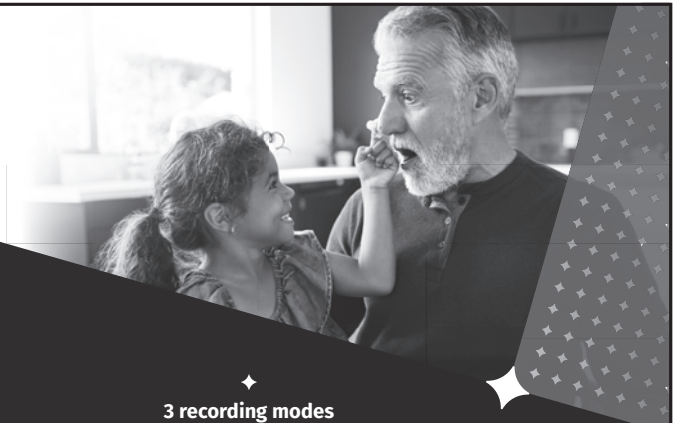
ARTIS pheno

As individual as your patients

www.siemens-healthineers.com/jp



SIEMENS
Healthineers



SpiderFlash™

Event loop recorder



3 recording modes

Auto-triggered | Automatic recording | Patient activation

24h Holter recording

Compatible with

HookUp 3™
programming software

EventScope™
analysis software

NOT AVAILABLE FOR DISTRIBUTION OR SALE IN THE USA.
©MicroPort CRM - September 2021 - RE06500033 - A - JP

製造販売業者: 日本マイクロポートCRM株式会社 販売名: スパイダーフラッシュ 一般名称: 発作時心臓活動記録装置 (長時間心電用データレコーダ) 医療機器認証番号: 302AABZX00080000



経口FXa阻害剤

処方箋医薬品^注 薬価基準収載

エリキュース錠

2.5mg
5mg

Eliquis. (アピキサバン錠)
(apixaban)tablets

(注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

■ 効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む
注意事項等情報等については、電子添文をご参照ください。

製造販売元 **Bristol-Myers Squibb 株式会社**

販売元 **ファイザー株式会社**

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1
文献請求先及び問い合わせ先: メディカル情報グループ TEL.0120-093-507
販売情報提供活動に関するお問い合わせ窓口: TEL.0120-457-200

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7
文献請求先及び製品の問い合わせ先:
製品情報センター 学術情報ダイヤル 0120-664-467
販売情報提供活動に関するご意見: 0120-407-947

2022年10月作成
432-JP-220058713 / ELQ72M002A

